

意見書

平成 24 年 1 月 4 日

情報通信行政・郵政行政審議会
電気通信事業部会長 殿

郵便番号 102-0074

(ふりがな) とうきょうとちよたく くだみなみ ちょうめ ぼん ごう

住 所 東京都千代田区九段南二丁目 3 番 1 号

(ふりがな) ふゅーじょん こみゆにけーしょんず かぶしきがいしゃ

氏 名 フュージョン・コミュニケーションズ株式会社

だいひょうとりしまりやく あいき たかひと

代表取締役社長 相木 孝仁

電話番号

FAX番号

電子メールアドレス

情報通信行政・郵政行政審議会議事規則第4条及び接続に関する議事手続規則第2条の規定により、平成23年11月29日付け情郵審で公告された省令案に関し、別紙のとおり意見を提出します。

(別紙)

この度は接続料規則の一部を改正する省令案につき意見募集の機会を頂き、厚く御礼申し上げます。
下記のとおり弊社意見を提出させて頂きますので、お取り計らいの程何卒宜しくお願い申し上げます。

平成 24 年度の接続料算定に用いる各入力値の更新については適当と考えます。

最新の入力値への更新により接続費用の低減化が窺えるところですが、この低減を上回る需要数(回線数及びトラヒック)の減少が想定され、平成 24 年度の接続料金は現行料金より値上げになるものと予想されます。「光の道」基本方針ならびに「PSTN マイグレーションの概括的展望」にもとづけば、メタル回線/PSTN から光アクセス回線/IP 網への移行が今後一層進行し、これに伴って需要数の減少、そして接続料金の上昇が継続し、LRIC モデル導入の意義(接続料引下げを促進して、競争を通じた利用者の利便向上を実現する)が失われていくものと考えております。

この問題を解決すべく、平成 25 年度以降には IP 網をベースとした LRIC モデルを始め、接続料上昇の抑制に繋がるモデルの見直しを行うべきと考えます。

以上